arcserve®

Assured recovery™

クラウド時代の災害対策とバックアップ運用の最前線

2017年7月28日 Arcserve Japan

> arcserve Japan 合同会社

1990年創業(米国): バックアップのパイオニアとして活動

1996年: 日本上陸

2014年: 日本CA株式会社から独立



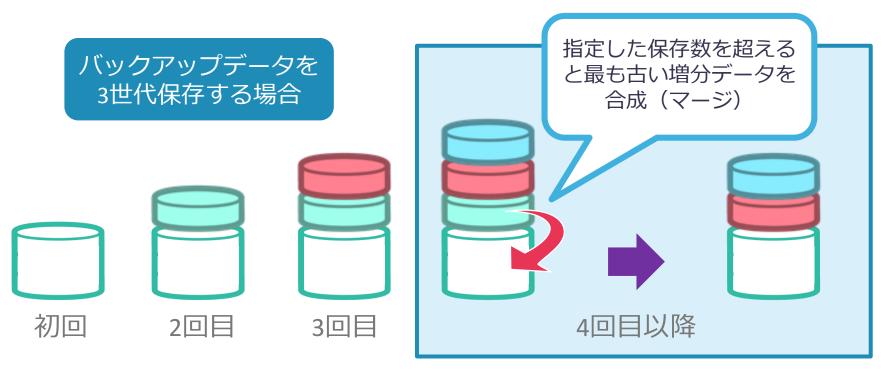
> Arcserve 製品シリーズ

簡単・低価格 災害対策/ 仮想化統合基盤 遠隔バックアップ バックアップ **Arcserve Unified Data Protection (UDP) Arcserve Arcserve** Replication / Backup **High Availability**

> 継続的な増分バックアップによる時間と容量の削減

時間がかかるフルバックアップは初回のみ実施

増分スケジュールだけでデータが保護できる簡単で手軽な運用 (初回は自動的にフルバックアップに変換)



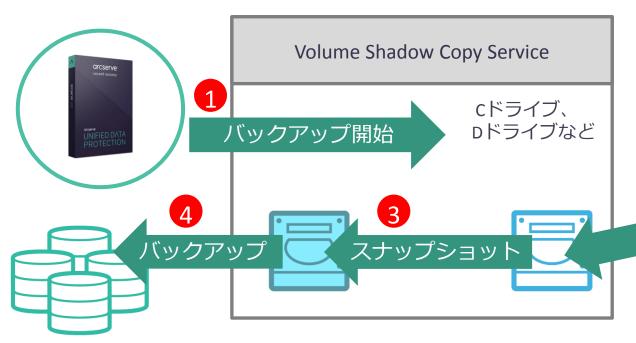
※初期設定では7世代を保存(最大1440世代まで設定可)



> 特別な作業不要のオンライン バックアップ

バックアップ時に SQL Server と内部通信

VSS Writer 経由で SQL Server からデータ受け取り 整合性のとれたアプリケーション データをバックアップ

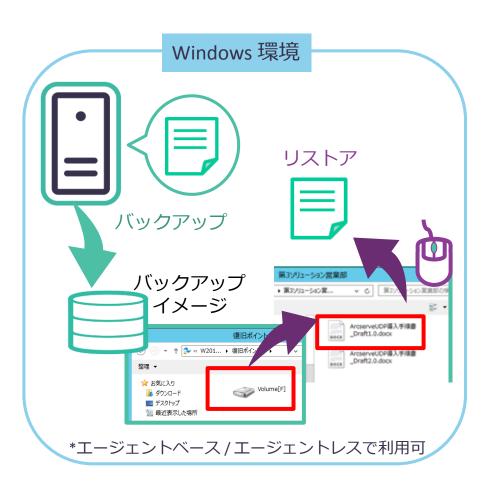


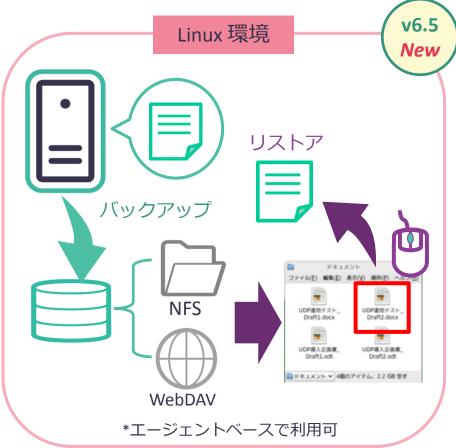




> ドラッグ & ドロップでファイルを簡単にリストア

Windows と Linux で同じ操作性を提供





> 見やすい一元管理で管理工数を削減

仮想マシン (エージェントレス) (Windows/Linux)



物理サーバ



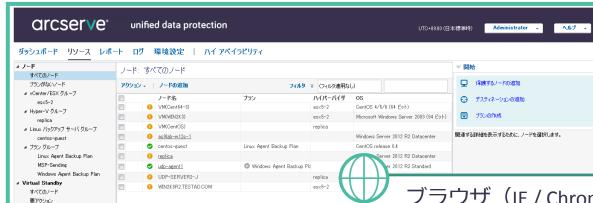
クライアント 共有フォルダ

クラウドVM











ブラウザ(IE / Chrome / Firefox)で どこからでもアクセス

同じ画面ですべて管理: 色でステータスを把握

スなッパイ VM 実行中

ソース実行中 ソースおよび VM 実行中

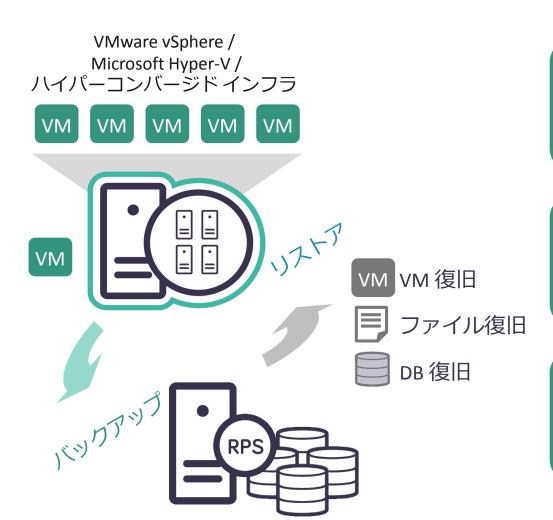
> エージェント配布: エージェント未導入環境 に自動配布

保管先管理:

バックアップ データの 保管先を把握

> 仮想の簡単バックアップを実現

バックアップソフト導入による業務サービスへの干渉なし



継続増分を利用可:

バックアップ時間と バックアップ容量を削減

管理工数削减:

100%の導入工数削減 簡単なバックアップ設定

os依存なし:

Windows / Linux で利用可



> 新規ゲストも漏れなくバックアップに組み込み

VMware VM の自動検出および自動バックアップ

自動運用で管理者の工数を削減







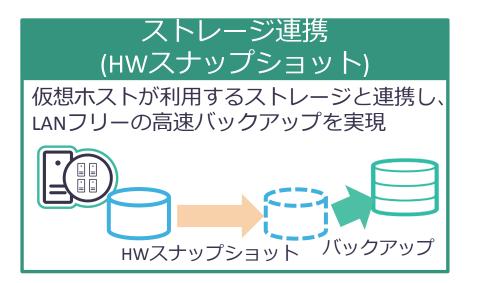
> そのほか仮想対応機能

イメージバックアップのテープ保管 イメージバックアップデータをテープへ バックアップ! データの長期保管や監査 要件に対応 テープ ィメージ (1ドライブライブラリ)

※ Arcserve Backup と連携(Arcserve Backup のライセンスは無償)

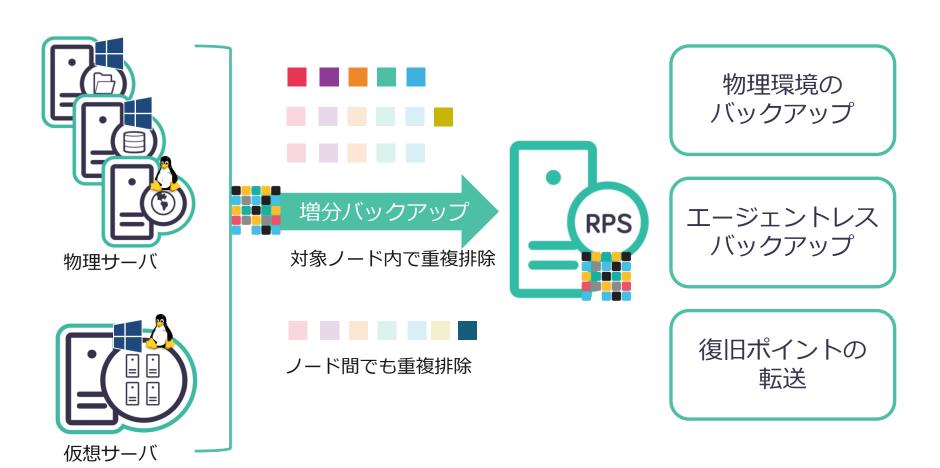
管理ツールとの連携が可能 コマンドラインインターフェースによる連携でバックアップ運用を自動化し、運用工数を削減 「フラン実行命令」 「バックアップ」 「バックアップ」

役割ベースの管理操作担当者に必要な権限のみを割り当て、セキュリティを強化プラン作成 バックアップ リストア ステータス参照



> 重複排除でバックアップデータ量を大幅削減

同一ノード内のほか、異なるノード間でも重複排除を実施



* 重複排除はRPS (復旧ポイントサーバ) 前提機能



> <参考>重複排除と圧縮の効果

霧島ホールディングス株式会社 様

株式会社ドン・キホーテ 様

削減効果

84.4%

270 GB

 \rightarrow 42 GB

削減効果

71.4%

7 TB

 \rightarrow 2 TB

サンマテオ クレジット ユニオン 様

削減効果

82%

25 TB

 \rightarrow 4.5 TB

株式会社クレオ様

削減効果

60%

18.3 TB

 \rightarrow 7.3 TB*

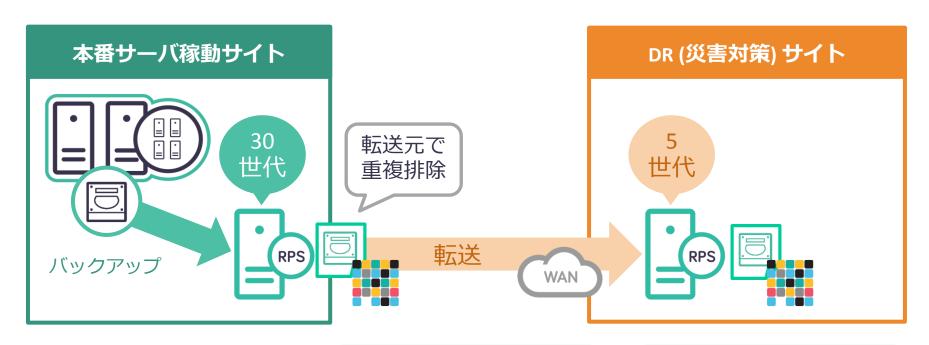
*削減効果から算出

株式会社クレオ様はクラウド基盤側で120社のサーバ111台の取得結果

> DRサイトで災害対策

重複排除の併用により最小サイズで災害対策サイトに転送

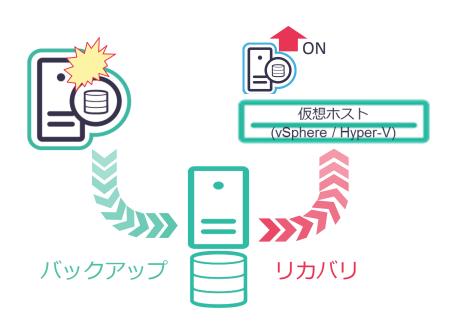
ネットワークの寸断/断線も考慮した安心のリトライ機能付き



重複排除で回線 使用量を更に削減 特定の曜日/時間指定や 帯域を制御 転送先での世代数を 個別に設定できる

> 仮想を使ったリストア時間 "ゼロ" の事業継続

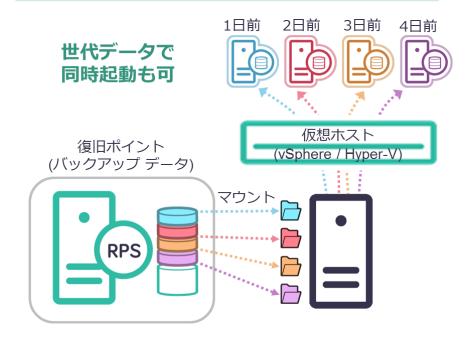
仮想スタンバイ



事前に復旧作業を自動実施:

電源を入れるだけの簡単災害対策 IPアドレスの変更も可

インスタントVM

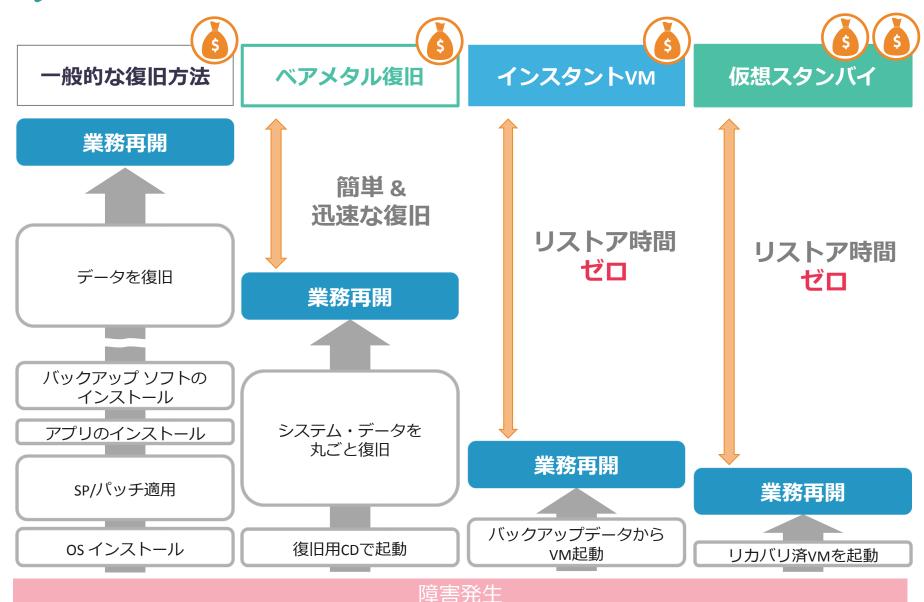


障害発生後に仮想マシン準備:

4ステップの簡単なウィザード IPアドレスやマシン名変更も可

* 仮想スタンバイはWindows環境で利用可

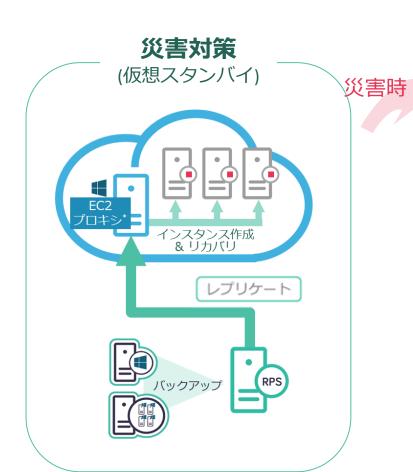
> <参考> 業務再開までの時間比較

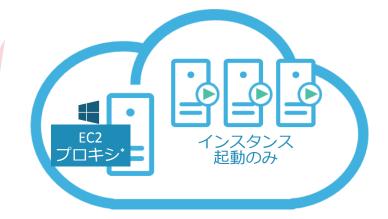


> EC2クラウドによるWindows環境の事業継続



リストア時間"ゼロ"でクラウドに即事業継続





起動するだけの 簡単な業務サービス再開

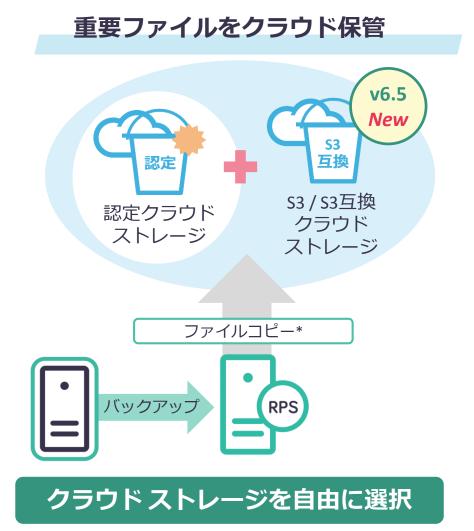
大規模災害対応

オンプレミスへの復旧も可(RPSレプリケート機能利用)

* EC2インスタンス (クラウドコンピュータ) にArcserve UDP エージェント導入

> S3/S3互換ストレージ利用で運用コストを削減

バックアップ データのクラウド保管 v6.5 New S3 / S3互換 クラウド コンピュータ クラウド ストレージ 復旧ポイントの レプリケート 復旧ポイントの コピー クラウドストレージでコストを削減



*対象: Windows OSの復旧ポイント

> Office365の大事なメールデータも安全に保管



保存期限の制約からいつでも復元できる体制を構築



完全削除アイテム 保持期間

14日

削除済み メールボックス保持期間

30日



















指定メールボックス をバックアップ メールボックスや アイテム単位でリストア

完全削除したアイテムを復元



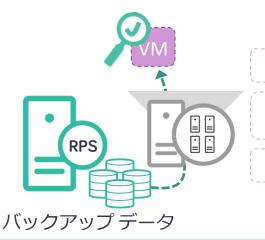
退職者のメールを復元 (他のメールボックスへリストアなど)

リストア工数削減 (全データを同一の操作で復元)

> バックアップデータに安心をプラス



確実に戻せるバックアップ データを毎回保管 (アシュアード リカバリ)



インスタントVM 作成

os起動確認 ネットワーク通信確認

インスタントVM 削除

システム起動確認



仮想ディスク作成

ファイルシステム確認 チェックディスク実行

仮想ディスク削除

復旧対象ドライブの確認

柔軟性:

自動の健全性チェック DRサイトでのチェックも可

利便性:

Windows / Linux / エージェントレス で利用可

コスト パフォーマンス:

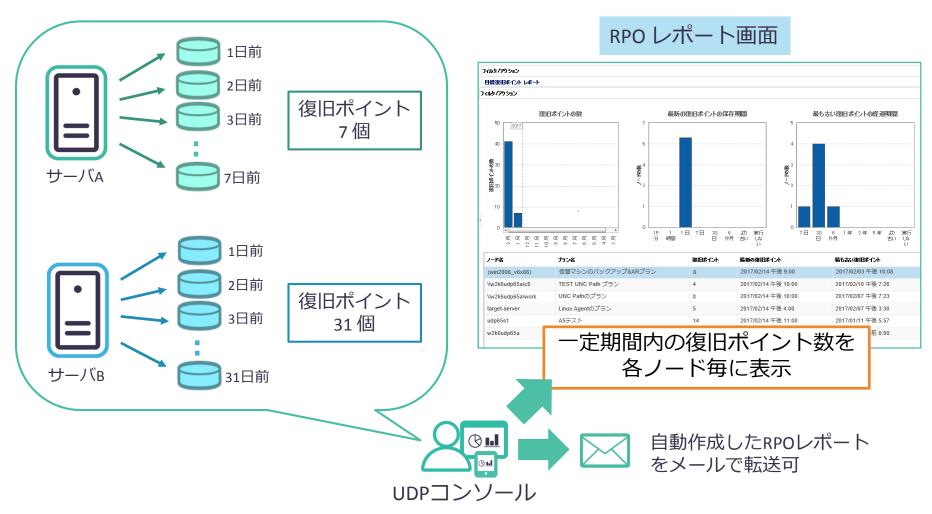
ディスク増設不要 (バックアップ データの操作)



> RPO の可視化 (SLA レポート)



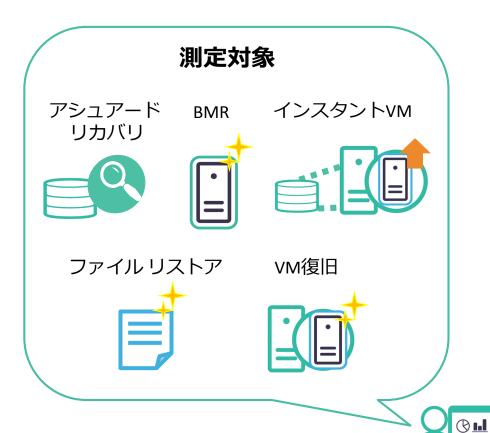
サーバ単位でどの時点まで戻せるかを可視化



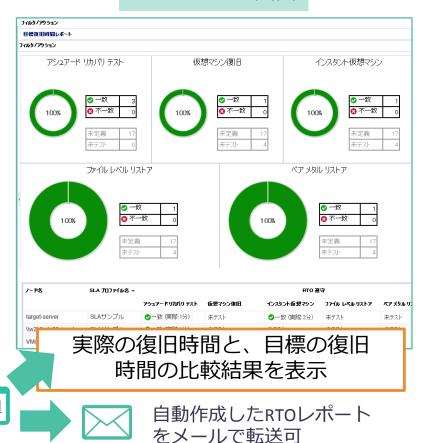
> RTO の可視化 (SLA レポート)



設定した目標復旧時間内に復旧できるかを可視化



RTO レポート画面





UDPコンソール

>

Arcserve UDP のエディションと価格

税抜き価格

					祝扱さ価値		
	サーバ用			PC用	利用		
Edition	Advanced	Premium	Premium Plus	Workstation	コンポー ネント		
イメージ バックアップ / 共有フォルダ (CIFS) のバックアップ	•	•	•	•	Arcserve UDP		
重複排除	•	•	•	•			
統合管理	•	•	•	•			
バックアップデータの転送	•	•	•	•			
仮想マシンのエージェントレスバックアップ	•	•	•	•			
仮想スタンバイ	•	•	•	•			
インスタントVM	•	•	•				
バックアップ データのテープ保管	•	•	•	•			
VSSライタを利用したオンライン バックアップ ※3	•	•	•	 2			
アシュアードリカバリとSLAレポート		•	•				
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp/ HPE 3PAR / NIMBLE)		•	•				
役割ベースの管理		•	•				
Oracle RMAN 方式/ Dominoのオンラインバックアップ		•	•		Arcserve Backup		
Arcserve Backup すべての機能 / 全エージェント/全オプションの利用 ※1		•	•				
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		•	•		Arcserve		
Arcserve Replication アプリケーション サーバのデータ複製 ※1			● Replicatio				
Arcserve High Availability ファイル / アプリケーション サーバの自動切替 ※1			•		/HA		

^{※1:}利用できる機能は、日本語の動作要件掲載の製品や機能です。



^{※2:} Microsoft SQL Server Express Editionのみオンラインバックアップをサポートします。

^{※3:} Office 365 (Exchange Online) の保護には、別途サブスクリプションを提供しています。

> Arcserve UDP / Backup の対応例

(凡例) ◎: 標準機能で対応 ○: 標準機能で一部対応 △: 別売のOption/Agent/他の製品で対応 ×: 未対応

機能	Arcserve UDP	Arcserve Backup	補足
ファイル単位のバックアップ	Χ	0	UDP: リストア時はファイル単位で復旧可
継続増分バックアップ	0	\triangle	Backup: Agent for Open Files で合成フル
システムの簡単復旧	0	\triangle	Backup: Disaster Recovery Option で対応
異機種への復旧	0	Χ	
スケジュール機能	0	0	UDP: 超簡単設定
複数スケジュール指定		0	Backup: 並列処理や曜日ごとのデータ選択可
データの重複排除	0	0	
一元管理	0		
テープへの直接バックアップ	X	0	UDP: ディスクからテープへのD2Tで対応
データの遠隔地保護		\triangle	Backup: Arcserve Replicationとの連携要
仮想スタンバイ	0	Χ	
インスタントVM	0	Χ	
クラスタ環境の保護	0	0	Backup: App対応、クラスタ全損への対応

> Arcserve UDP / Backup の選択基準例

手間いらずの継続増分バックアップ

異機種モデルへのシステム復旧

バックアップ データの遠隔地転送

リストア時間 "ゼロ" ですぐに復旧

Linuxのベアメタル復旧

バックアップ/リストアの並列処理

曜日ごとの対象データ変更

テープへの直接バックアップ

クラスタや高可用性システムの保護

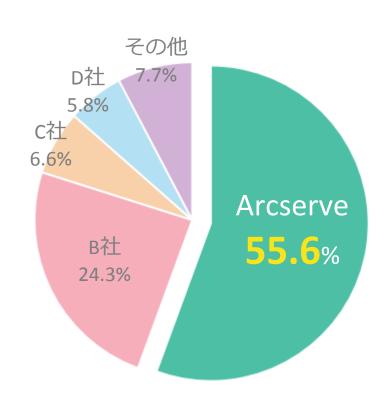
UNIXシステムの保護

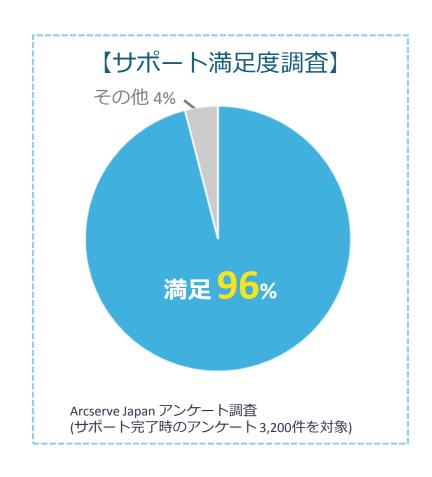
Arcserve UDP

Arcserve Backup



> Arcserve製品の市場占有率とお客様の満足度





[出典]:

ミック経済研究所

ミドルウェア パッケージ ソフトの市場展望 2016年度版 「Windows版におけるバックアップ出荷金額(メーカー出荷)」 (2016年度)



製品情報とお問い合わせ窓口



Arcserve ポータルサイト: arcserve.com/jp

カタログセンター(製品カタログ、参考資料、技術資料)

http://arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパンダイレクト(ご購入前のお問い合わせ窓口)

例:「必要なライセンスは?」、「xxxをサポートしますか?」 等など



フリーダイヤル: **0120-410-116** (平日9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)



Webフォーム: http://www.arcserve.com/jp/japandirect



メールアドレス: JapanDirect@arcserve.com